2024年度 九州国内視察報告

企画委員会 委員長　府川 正明
（芝浦メカトロニクス株式会社）

■九州国内視察

10月24日（木）～25日（金）の2日間、日本表面真空学会と日本真空工業会合同の国内視察を行いました。視察団は、JVIA眞下副会長（神港精機株式会社）を団長として、26名（19社）が参加しました。

【参加企業】

秋田化学工業（株）、（株）アルバック、入江工研（株）、（株）荏原製作所、（株）大阪真空機器製作所、キヤノンアネルバ（株）、佐藤真空（株）、芝浦メカトロニクス（株）、芝浦エレテック（株）、（株）島津製作所、（株）シンクロン、神港精機（株）、住友重機械工業（株）、（株）テクノポート、東洋ステンレス化工（株）、東和工業（株）、ナグモ産業（株）、（株）山川機械製作所、（一社）日本真空工業会

訪問先は、(1) 北九州国際会議場で開催されているISSS-10（The 10th International Symposium on Surface Science）から始まり、(2) 九州工業大学マイクロ化総合技術センター、(3) 九州大学 水素材料先端科学研究センター、(4) ふくおかIST 三次元半導体研究センターと、注目を浴びている半導体関連研究施設や水素材料研究設備の4ケ所の訪問を行いました。

■ISSS-10見学

最初の訪問先は、北九州市小倉北区にある、北九州国際会議場です。ここで開催されている、ISSS-10は、日本表面真空学会（JVSS）が主催している第10回国際シンポジウム。

JVSS渡邉会長（東京大学）よりJVSSの活動、産学連携、ISSS-10の概要のご説明をいただきました。松本理事（東北大学）からは、学術講演会の目的や多彩な実用・応用分野のご紹介がありました。



北九州国際会議場 集合写真

■九州工業大学 マイクロ化総合技術センター

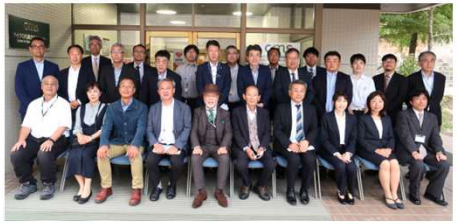
続いて、飯塚市に移動し、九州工業大学 マイクロ化総合技術センターを訪問しました。半導体素子や微細加工デバイスの設計から製造・評価までが可能な施設です。

中村センター長／馬場副センター長より施設の説明と見学が行われました。4インチウェーハのCMOS LSIの製造ラインを有しており、新デバイスの研究開発などが可能です。社会人向け実習型半導体人材育成セミナーの受入れもしており、当日も、大勢の受講者が実習を行っていました。


マイクロ化総合技術センター説明会


クリーンルーム見学


設備見学



■九州大学　水素材料先端科学研究センター

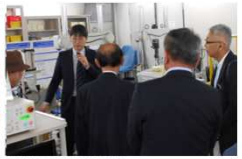
2日目は、福岡市の九州大学伊都キャンパスにある水素材料先端科学研究センターを訪れました。

安全性と経済性が両立する本格的な水素利用への貢献を研究目的として、水素の物性、材料、トライボロジーに関する研究を行っています。

松永センター長／横本部門長より、施設の説明・見学が行われ、高圧水素環境における、材料のメカニズムの解明や水素物性データの所得を実施し、水素関連機器の開発、国際標準化などの説明がありました。

水素エネルギー社会の普及拡大に向けて、安全性の基礎研究の大切さを感じました。


水素材料先端科学
研究センター説明会


材料試験設備見学



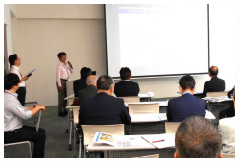
水素材料先端科学研究センター 集合写真

■ふくおかIST 三次元半導体研究センター

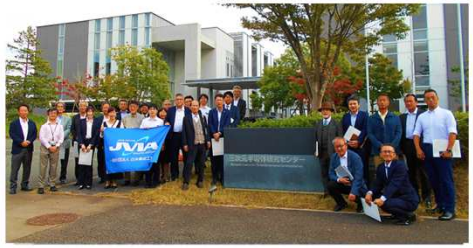
最後の訪問先は、糸島にある、ふくおかIST 三次元半導体研究センターです。複数の半導体チップを三次元積層し、高密度化・パッケージ化を図るために、設計、試作、評価・解析を一貫して行える設備を有しています。

小野部長より施設の説明と研究員による設備紹介が行われました。実装機、めっきライン、現像、配線形成、レジスト剥離などの設備などを見学しました。

企業版ふるさと納税のご紹介もいただきました。


三次元半導体
研究センター説明会


設備見学



三次元半導体研究センター 集合写真

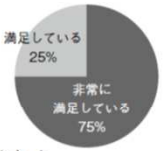
■視察団交流会

今回は、国内視察に初参加の方が、半数以上を占める視察団でしたが、食事会場などで名刺交換から始まり、歓談の輪が広がり、活気に満ちた交流が行われました。会員各社の絆が深まる良い機会になりました。


1日目の夕食会場にて

終了後のアンケートでは、今回の視察については、全員が、満足・非常に満足の回答となり、訪問・交流ともに成果があったことを確信しました。

次回の視察候補地も、半導体で注目されている北海道やナノテラス（東北）・大阪・沖縄など、沢山のご意見をいただきました。



アンケート
（国内視察全体を通しての満足度）

■終わりに

今回は北九州で開催された国際シンポジウムISSSにあわせて、今、九州地区で活況を呈している半導体産業の研究機関と今後の普及が期待される、水素材料研究設備の見学をいたしました。

会員各社様の事業展開検討のお役に立てればと思います。